

# CSNニュース 4月号

(社)地域社会支援ネットワーク神奈川

CSNは町会・自治会と連携し、併せて民生委員・児童委員、地域包括支援センター、地域ボランティアグループとも連携して地域の独居者やご高齢者への見守り電話(無料)や生活支援を行っています。  
「どこに頼んだらよいだろう?」と思ったときに CSN に“ご相談”下されば、「作業の方法」をご提案し、利用者様の立場で地域の信頼できる業者への「お手配」を行っています。また、地域の皆様むけに共同発注を企画して、より良い「サービス」「商品」を選択し、地域限定の特別価格にてご提供しております。

3月号に続き、「平成26年度版高齢社会白書」から抜粋して「高齢者の社会参加活動」からご案内します。

- **高齢者の社会参加活動では、グループ活動に参加している高齢者は約6割で、今後参加したい高齢者は約7割!**  
60歳以上の高齢者の61.0%は何らかのグループ活動に参加しており、10年前と比べて18.7ポイント増加しています。自主的なグループ活動に参加している高齢者の活動全体を通じてよかったことは、「新しい友人を得ることができた」(48.8%)が最も多く、ついで「生活に充実感ができた」(46.0%)、「健康や体力に自信がついた」(44.4%)の順となっている。
- 高齢者が参加したい団体を見ると「趣味のサークル・団体」(31.5%)が最も多く、ついでに「健康・スポーツのサークル・団体」(29.7%)となっている。
- また、参加している団体を見ると、「町内会・自治会」(26.7%)が最も多く、約4人に1人が参加している。
- **高齢者の生涯学習への参加状況についてみると、この1年くらいの中に生涯学習をしたことのある人は、60代でも70歳以上でも5割以上であった。**内容は、「健康・スポーツ」が60代で31.7%、70歳以上で28.8%と最も多い。生涯学習を行っていない理由を見ると、60代では「仕事が忙しくて時間がない」(40.8%)が最も多く、次いで「きっかけがつかめない」(20.9%)となっている。70歳以上では「特に必要がない」(19.8%)が最も多い。
- **高齢者の生活環境では9割の方が現在の住居に満足している。**60歳以上の高齢者の住宅満足度は、「満足」又は「ある程度満足」の人が総数で89.3%、持ち家で91.2%、賃貸住宅で69.9%となっている。
- 60歳以上の高齢者の会話の頻度では、全体では毎日会話している人が9割を超えるものの、一人暮らし世帯では、「2~3日に1回」以下の人も多く、男性の単身世帯で28.8%、女性の単身世帯で22.0%を占める。
- 近所づきあいの程度は、全体では「親しく付き合っている」が51.0%で最も多く、「挨拶をする程度」は43.9%、「付き合いがほとんどない」は5.1%となっている。  
性・世帯構成別にみると、一人暮らしの男性は「付き合いがほとんどない」が17.4%と高く、逆に一人暮らしの女性は「親しく付き合っている」が60.9%と最も高くなっている。  
また、病気の時や、一人ではできない日常生活に必要な作業(電球の交換や庭の手入れなど)の手伝いについて、「頼れる人がいない」人の割合は、全体では2.4%であるが、一人暮らしの男性では20.0%にのぼる。



\* 今回は「高齢者の犯罪」と「高齢者の孤独死」の部分は紙面の都合上、省略させていただきました。

以上をもちまして「平成26年度版高齢社会白書」の抜粋記事を終了といたします。

\*\*次号からは「高齢者の地域防災活動」や「災害に対する具体的な準備」などをご案内いたします。